公益財団法人
福岡市学校給食公社

（公財）福岡市学校給食公社は福岡市の外郭団体として福岡市教育委員会の委託を受け、市立小（146校）・中（71校）・特別支援（７校）学校給食の食材調達等を24名の職員で行っています。

福岡市の学校給食での食品ロス削減の取り組み











福岡市の学校給食は、年間約190日、毎日約12万2千人※に提供されています。



※令和８年５月１日現在

学校給食で発生する食品ロスは主に２種類あります

１　調理くずや児童生徒に提供した後で残る食べ残し











野菜の切裁くずや給食の食べ残しは、給食センターでまとまった量が回収できる分を家畜の飼料として活用しています。
食べ残しを減らすため、献立の工夫はもちろん、配膳時に食べられる量に自分で調整する他、
食材の生産者を学校に招いての出前講座や生産の現場を取材した動画を再生する等理解を深めるための取り組みや、
より魅力的な食材を提供するための給食物資展示会の開催などを行っています。

２　給食として提供されずに残る未利用食材

台風や大雪で全市一斉休校、感染症により急な学級閉鎖等により発生
・学年閉鎖等・献立を翌日以降にスライドさせて実施（一斉休校の場合）
・保存がきく食材は学校で保管し給食で使用
・保存が難しい食材はNPO法人フードバンク福岡で活用



→パンは対応が困難

・製造に時間がかかり急に止められない
・消費期限が短く設定されている
・活用には手間がかかる





→パンは対応が困難・・・をどう対策したか

・製造に時間がかかり急に止められない
　生地の仕込み、発酵などの工程が多く２日前までに製造開始を止める必要がある。
　福岡市では最大５５，０００個程度１日に使用するため、製造に入ると途中では止められない。
→工程の変更は困難

・消費期限が短く設定されている
　給食用のパンは前日または当日焼成されたものを給食で提供するため、pH調整剤やアルコール製剤等を添加していない。
　栄養価の摂取基準の観点から、糖質、脂質を抑えているため短期間でパサつきが出やすい。
→配合の変更は困難

・活用には手間がかかる
　各学校や納入業者に分散しているパンを回収する必要ある。
　フードバンクや特定の団体への譲渡は、不定期で発生し量もまちまちなため受け入れが難しい。
　販売には事前の届け出や販売場所の確保、袋詰めや一括表示の必要があり、告知や販売要員が必要。
→事前の準備と関係機関との連携強化

・保健所への販売届けを事前に提出
・原材料やアレルゲン表記の一括表示、告知SNSを準備
・一斉休校、学級閉鎖情報共有のシステム化
・販売予定の場所を事前に確保するため市役所や区役所との調整
・販売の手順をマニュアル化

福岡市学校給食公社では令和３年度から市民向けパン販売を始めました

①学級閉鎖情報を基に各学校を当公社職員が回りパン等を回収します

②一斉休校の際は余剰パンも建物廊下を埋め尽くすほど大量になります

③職員総出で4個から10個のパンをバランスよく袋詰めし、一括表示の紙を加えて封をします

④SNSを通じて販売場所や時間をお知らせします

⑤一斉休校の大量に余剰パンが発生した時を除くと学級閉鎖等によるパン販売では10分前後で完売します

※現金の受け渡しや釣銭準備の煩雑さを減らすため、１袋100円で販売しています

①



②



③



④





⑤



パン販売実績

令和3年度	３３回	７９，１１５個	令和3年9月台風による一斉休校では 32,390個中26,460個販売
令和4年度	３３回	３１，１００個	
令和5年度	１１６回	８５，９４０個	令和5年7月 大雨による一斉休校では61,330個中36,810個販売
令和6年度	５７回	１４，５４１個	
令和7年度	８６回	３４，１９６個	
令和8年度	１７回	４４，３０２個	令和8年6月 台風による一斉休校では57,236個中42,790個販売

※令和８年度実績は１０月９日現在

※販売の売り上げはすべて給食食材料費に充当されます。

※福岡市では令和７年度第２学期から給食費無償化（保護者負担なし）となっていますが、それ以前から休校や学級閉鎖等で給食を喫食していない分の給食費は減額（公費負担）されております。

パン販売の認知度向上により
公社や学校給食の理解促進に
つながっています

ホームページ、ＳＮＳの認知度向上

	令和３年度	→	令和７年度
ホームページ閲覧数	９７，０００	→	９９４，０２６
Xのフォロワー数	１，７２６	→	６，３２４

※Xのフォロワー数は令和８年10月９日時点

販売実施時のＳＮＳでの反応の例

福岡市のこの対応素晴らしいと思う。
大雨で学校が急きょ休校になり、給食用のパン約6万個が余る事態に。
それを廃棄せず、市役所で10個100円で販売。
多くの市民が協力し、約4万個がフードロスを回避。売れ残りも家畜飼料としてリサイクル。
「全部捨てる」じゃなく、「どう生かすか」を考えた行政の好例だと思う。
こういう取り組み、全国に広がってほしい。

大量に余った給食パン「１０個１００円」で販売🥐台風による雨で２３０校が臨時休校
「子どもの安全第一」いい取り組みだね。
😀😀

余ったパンが無駄にならんのはええことやわ。
みんなで買うて応援しまひょ〜📦✨

福岡市で学級閉鎖で余った給食パンを一般販売したら“懐かしい！”って大行列🥐
あの給食パンって不思議な魔法がありますよね。
思い出ごとふわっとよみがえる感じ🤭✨

市役所へ学級閉鎖に伴う余剰パン販売に行ってきました📦
フードロス削減に繋がるし何より給食用のパンなので添加物が少なくて美味しい!1歳の息子も喜んで食べます♫お家でアレンジも可能👍これからも継続してほしい福岡市のエシカルアクションです✨

福岡住みだけどマジで今から市役所飛んでくわ😂 10個100円って神すぎる、雨で給食余っちゃうの分かるわー。買えた人いる？
味どうだったか教えてくれ〜！

福岡市が実施している、臨時休校で余った給食用パンを一般販売する試み。懐かしい給食パンを堪能しつつ、食品ロス削減にもつながる嬉しい取り組みです。

休校で余った“給食パン”を格安販売
台風の日、福岡市役所で売っていたのは……
思わず二度見の“100円商品”が500万表示「これは買いたいです！」「良い試みやなぁ」

福岡市の学校が休校・学級閉鎖によって、給食のパンがフードロス対策で、5つ100円という破格の内容にて販売！
懐かしすぎて食べるのが楽しみ😌

大量に余ったものをそのまま廃棄じゃなく販売する判断、もっと広がってほしいです。